

新しい道

国に歴史が与るようには

人にも歴史が与る

急の時代がスタート

昭和のはじめ 石炭ストーブがあり じつじ

千ヨコに止る存在する生活だ

資源の乏しさを

変化の時代

戦中三度大戦で 資源は 無一文は有り

子供は牛馬を飼ふたため 田舎で

子供の共同生活がけしき

食料不足 手はく

食の乏しさを

不ち活ひのしをして ひとたきりの不米と

手は入れ 炭の薪を入れて 火を

食の乏しさを やとの日々を

新しい時代

手はやりして いろは

生きていくための ほんたうな

いろんが生活と

サッカリとしたの立場でサッカリとエカエエッ

ビエヒッめさる

コッペにエッラウグ 大きなフクニエを香に

おい中々コッペにエ 寂茶でろッた

冬々さむい時 夕ネカウ花牛一峰年手か

今川やきをやいて三ヶ十内ニ 新垣氏のフクに

ヒ入れどッエッヒとウたいていん

やなくて フヒエッヒ その後 講習 講演

エヒヒッア年同三百回ほど

北海道ハカウ沖斥カウを 玉リチカッていた

痛の時々

脳硬塞 脊骨神経痛 肋間神経痛 迷走神経

名詞 いんちしん 存と十年くらいつづいて

いん

無の時期

現在 存とごともなくくろいていさ

毛の履歴は「点」でス々ト「点」であかりの

あかり

2023
5/19